Creative Enzymes®

ネイティブ牛カルボキシペプチダーゼA

Cat. No. NATE-0150

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	牛膵臓腺から単離されたカルボキシペプチダーゼは、1モルのタンパク質あたり1g原子の亜鉛を含むメタロ酵素です。これは、ペプチドおよびタンパク質におけるカルボキシル末端ペプチド結合の加水分解を触媒します。主にフェニルアラニン、トリプトファン、ロイシンなどの芳香族および疎水性側鎖に特異的です。この酵素はエステラーゼ活性も示します。β-フェニルプロピオン酸エステルおよびインドール酢酸によって阻害されます。
用途	ウシ膵臓由来のカルボキシペプチダーゼAは、大腸菌における可溶性および活性化可能なウシ前カルボキシペプチダーゼAの発現を調□する研究に使用されました。ウシ膵臓由来のカルボキシペプチダーゼAは、ダチョウカルボキシペプチダーゼの前□体の分離と部分的な特性評価を調□する研究にも使用されました。Creative Enzymesの酵素は、Metarhizium anisopliaeカルボキシペプチダーゼA（MeCPA）の特異性を研究するための比較として使用されました。MeCPAは、組換えタンパク質のC末端からポリヒスチジンタグを除去することを容易にするために遺伝子工学的に改□されました。また、in vitroでα-チューブリンの脱チロシン化に使用され、高い親和性をエチル-N-フェニルカルバメート（EPC）セファロースに誘導するためにも使用されました。
別名	EC 3.4.17.1; CPA1; CPA; カルボキシペプチダーゼ A1; 膵臓前カルボキシペプチダーゼ A; 11075-17-5; カルボキシポリペプチダーゼ; ペプチジル-L-アミノ酸ヒドロラーゼ; カルボキシペプチダーゼ A; カルボキシポリペプチダーゼ; 膵臓カルボキシペプチダーゼ A; 組織カルボキシペプチダーゼ A

製品情報

種	ウシの
由来	牛膵臓
形態	水性懸濁液。
EC番号	EC 3.4.17.1
CAS登□番号	11075-17-5
分子量	mol wt ~35 kDa
活性	> 50 ユニット/mg タンパク質
代謝□路	膵臓分泌、特定生物体のバイオシステム；タンパク質の消化と吸収、特定生物体のバイオシステム；タンパク質の消化と吸収、保存されたバイオシステム
機能	メタロカルボキシペプチダーゼ活性; 亜鉛イオン結合
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.5の条件下で1.0μモルのヒッピュリル-L-フェニルアラニンを1分あたり加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C